

すわみつえ通信

No.173 2021年5月17日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

臨時議会開催される

議会の体制が変わりました

5月14日(金)に臨時議会が開催されました。地方税法改定に伴う市税条例(個人市民税・固定資産税・軽自動車税・都市計画税)の改定、コロナ関連の補正予算の議案6件です。いずれも全会一致で可決しました。

議長と副議長の辞職に伴う選挙を行い、新たに議長に大塚佳之議員、副議長に坂本国広議員、監査委員に市ノ川徳宏議員が就任しました。また、常任委員会委員、一部事務組合選出議員などを決め、23時30分に終了しました。

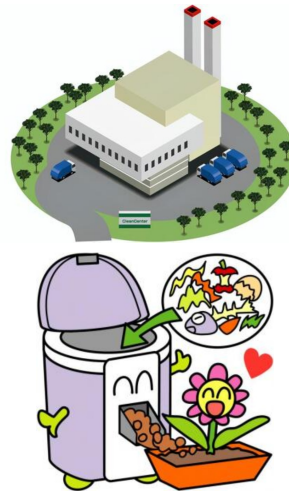
すわみつえ市議は文教福祉常任委員会から「市民環境常任委員会」に希望により移りました。市民生活部所管(マイナンバーカード・国保・後期高齢医療等)、環境経済部所管(ごみ処理・商工観光等)、農業委員会に関する事業について、審査していきます。

2市1町の共産党議員団で ごみ処理施設学習会を開催

新ごみ処理施設の建設については、鴻巣市・北本市・吉見町の2市1町で事務レベルの勉強会が開催されています。広域の新たな枠組みは決まっています。さんが「新ごみ処理施設」の検討がはじまっています。

日本共産党は、鴻巣市・北本市・吉見町の日本共産党議員団で意見交換会を行い、今後、協働して「新ごみ処理施設建設」への対応に取り組むことにしました。

人口減少が進む中で環境に考慮したごみ処理施設はどうあるべきか提案できるような知恵を出し合う勉強会にしています。



新教育長と新日本婦人の 会との初懇談会に参加

5月12日に今年度就任された教育長と新日本婦人の会が懇談しました。コロナ禍での子どもの様子、一人一台のパソコン貸与での使用状況や環境のない家庭での使用方法、不登校の子どもたちの居場所、教育支援センターを終日開会にできないか、学校内女子トイレに生理用品を常備できないか等、日頃、疑問に思っていることや要望を懇談しました。今後の議会活動に取り入れていきたいと思っています。

コウノトリ野生 復帰センター内覧

ふきあげコスモスアリーナ駐車場脇に新設された「コウノトリ野生復帰センター」内覧会に参加しました。

2億5千万円以上の施設建設費の他に、飼育に関わる費用として、今年度4千9百万円が計上されています。24時間管理の集中管理システム、大型冷凍冷蔵庫設置の調理室、病気などのときの静養室など、さながら動物園の飼育室のようです。

東松山子ども動物公園から2羽のペアリングされたコウノトリが当施設にやってくるのは今年の秋。来年4月から一般公開される予定です。



コウノトリ野生復帰センター外観



室内から見た
ケージ



観察スペース

俳句コーナー
花は葉に聖火が感染広めてる

多恵子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

89年前、海軍の青年将校らによって時の首相、犬養毅が暗殺される五・一五事件が起きました。事件は軍部が発言力を強め、日本の軍国主義化が大きく進展する契機となりました▼この日はアメリカの喜劇王チャップリンが来日していました。青年将校らは当初、首相主催のチャップリン歓迎会を襲撃しようとしていました。計画の変更でチャップリンはかろうじて難をのがれます▼日本でのファシズムの台頭を、身をもって経験してから8年後、チャップリンは映画「独裁者」を発表します。侵略やユダヤ人迫害を進めていたヒトラーを痛烈に批判した作品。チャップリン演じる理髪師が独裁者を取り違えられて大観衆を前に演説をさせられることに…▼平和と平等、民主主義を訴えた劇中のチャップリンの演説は、多くの人の心をとらえてきました。映画公開から80年以上たった今、この演説が新たな形でよみがえっています▼世界的に注目を集める日本のダンスグループ「s**t kingz (シットキングス)」。「独裁者」の演説に振り付けをし、力強くスピード感あるダンスにしています。黒人差別に抗議する「Black Lives Matter (ブラック・ライブス・マター)」運動を目の当たりにして、自分たちもそうした問題に向き合っていかなければと考えたそうです▼激動する世界。その中で差別を否定し、民主主義と平和を求める動きが多様な形で確かに広がっています。あの演説でチャップリンは訴えています。「私たちはみな互いに助け合いたいのだ。人間とはそういうものだ」

s**t kingz 映像作品 『独裁者 - 最後の演説 -』 The Great Dictator - Final Speech



この作品(楽曲)を選んだ理由

s**t kingz のチーム全員が尊敬している世界的エンターテイナー、チャールズ・チャップリンの映画『The Great Dictator』の最後のスピーチに出会いました。長きに渡り、ノンバーバル(非言語)で人々をハッピーにし続けてきたチャップリンが、はじめて映画の台詞(言葉)を通してメッセージを発信した、その行動に感銘を受けました。そんなチャップリンが、本作で訴えている『自由・平等』の問題は、未だに解決される事なくあらゆる場所で様々な形で続いている。だからこそ、時を超えて、彼のその映画の1シーンの台詞に乗せて、自分たちの表現＝ダンスで『自由・平等』を世界に訴えたいと思いました。

「シットキングス 独裁者」を検索し、YouTube で観れます。

映画『独裁者』の作中で、独裁者ヒンケル(ヒトラーを風刺していると言われる)と瓜二つの顔をしていたために間違われた床屋(チャーリー・チャップリン)が兵士たちの前で演説する。チャップリン自身によって書かれたもので、史上もっとも感動的なスピーチとして世界中で賞賛されています。

申し訳ないが……。私は皇帝になどなりたくない。私には関わりのないことだ。支配も征服もしたくない。できることなら、皆を助けたい。ユダヤ人も、ユダヤ人以外も、黒人も、白人も、私たちは皆、助け合いたいのだ。人間とはそういうものなんだ。お互いの幸福と寄り添いたいのだ……。お互いの不幸ではなく。憎み合ったり、見下し合ったりしたくないのだ。世界で全人類が暮らせ、大地は豊かで、皆に恵みを与えてくれる。人生は自由で美しい。(中略)



兵士たちよ。獣たちに身を託してはいけない。君たちを見下し、奴隷にし、人生を操る者たちは、君たちが何をし、考え、感じるかを指図する。君たちを鍛え、食事を制限する者たちは、君たちを家畜として、ただのコマとして扱うのだ。身を託してはいけない。そんな自然に反する者たちなどに。(中略)

君たち、人々は力を持っているんだ。機械を作り上げる力、幸福を作る力を持っているんだ。(中略)

民主国家の名のもとに、その力を使おうではないか。皆でひとつになろう。新しい世界のために闘おう。常識ある世界のために。皆に雇用の機会を与えてくれ、君たちに未来を与えてくれ、老後に安定を与えてくれる世界のために。そんな約束をして、獣たちも権力を伸ばしてきた。しかし、奴らは嘘つきだ。奴らは約束を果たさない。これからも果たしはしない。独裁者たちは自分たちを自由にし、人々を奴隷にする。

今こそ、闘おう。約束を実現させるために。闘おう。世界を自由にするために。国境のバリアをなくすため。欲望を失くし、嫌悪と苦難を失くすために。理性のある世界のために闘おう。科学と進歩が全人類の幸福へ、導いてくれる世界のために。兵士たちよ。民主国家の名のもとに、皆でひとつになろう。